



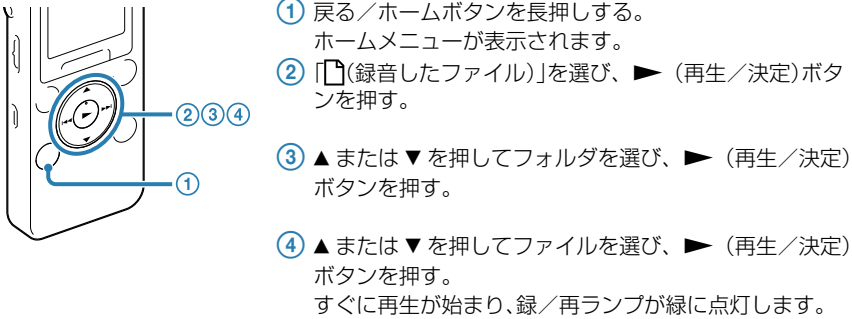
① ●録音／一時停止ボタンを押す。
録音が始まり、録／再ランプが赤く点灯します。

② 録音を止めるには ■ 停止ボタンを押す。
ラジオ放送を録音したファイルは、放送局名(または周波数名)のフォルダに保存されます。

💡 ヒント

- 電源を切っていても、設定した録音予約は実行されます。
- パソコンと接続している場合、録音予約は実行されません。

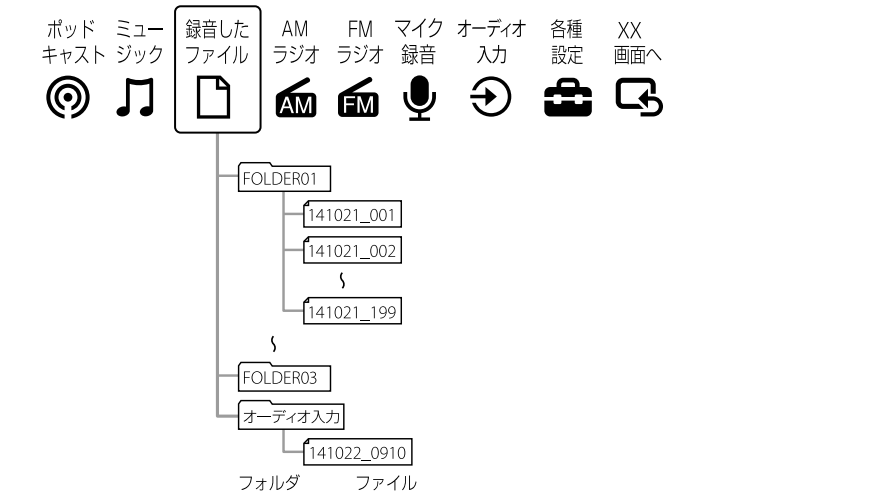
録音したラジオを再生する

- 
- 1 戻る／ホームボタンを長押しする。ホームメニューが表示されます。
 - 2 [録音したファイル]を選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。
 - 3 ▲または▼を押してフォルダを選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。
 - 4 ▲または▼を押してファイルを選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。すぐに再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。

フォルダとファイルについて

ポータブルラジオレコーダーで録音した音声ファイルは、フォルダに保存されます。初期設定で、下記のフォルダが自動的に作成されます。

「FOLDER01」～「FOLDER03」：マイク録音したファイルが保存されます。
「オーディオ入力」：(マイク)ジャックにつないだ外部機器から録音したファイルが保存されます。



▼ ヒント

- ラジオ放送を録音する場合は、録音ファイルの保存先フォルダは自動的に作成されます。録音予約の自動分類と同様に放送局名や周波数を含んだフォルダ名になります。すでに同名のフォルダが存在する場合はそのフォルダ内に保存されます。
- ポータブルラジオレコーダー内に挿入したメモリーカードに直接録音する場合は、あらかじめ設定を変更してください。変更のしかたについて、詳しくは取扱説明書の「準備する」の「準備6：お使いになる前に－基本操作の確認」中の「メモリーを切り換える」をご覧ください。

スピーカークレードルを使う

付属のスピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーをセットすると、ラジオ放送や音声ファイルをスピーカークレードルのスピーカーから出力することができます。スピーカークレードルからの音量は、ポータブルラジオレコーダーをスピーカークレードルにセットした状態で調節することができます。この時の音量は、ポータブルラジオレコーダーのみで設定した音量とは異なります。

❗ ご注意

ポータブルラジオレコーダーの底面にあるクレードル接続端子が、スピーカークレードルの本体接続端子にしっかり接続するように設置してください。

▼ ヒント

スピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーを載せておくと、電源オフ時は現在時刻を表示します。

スピーカークレードルから取りはずすには

ポータブルラジオレコーダーを手前に傾けるようにして取りはずしてください。

ラジオをクリアに受信するにはアンテナが大切！

●ポータブルラジオレコーダーを持ち歩きながら使うときは

FMラジオ受信時：
付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、Ω(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、できるだけ長く伸ばしてお使いください。

AMラジオ受信時：
アンテナが内蔵されているので、ポータブルラジオレコーダーの向きによって受信状態が変わります。ポータブルラジオレコーダーをもっともよく受信できる向きにしてお聞きください。

●スピーカークレードルに載せて使うときは

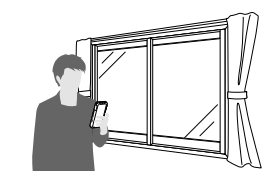
FMラジオ受信時：
スピーカークレードルに接続した付属のFMラジオ用アンテナケーブルを長く伸ばし、FM外部アンテナ切り換えスイッチが「入」になっていることを確認してください。

AMラジオ受信時：
スピーカークレードルに接続した付属のAMラジオ用ループアンテナを、もっともよく受信できる向きにし、AM外部アンテナ切り換えスイッチが「入」になっていることを確認してください。

ラジオをクリアに聞くには

電波が弱くラジオがはっきり聞こえない！というときは、ちょっとした工夫で、今までよりスッキリハッキリと聞くことができます。

受信する場所を変える



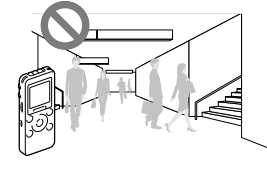
屋内では窓のそばで使う



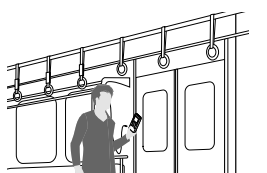
家電製品や携帯電話の近くで使わない



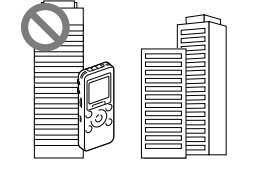
山のふもとを避ける



地下では電波が届かない



電車内ではドアや窓のそばで使う



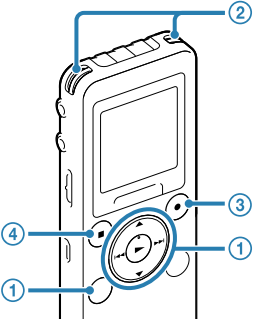
ビルの谷間は避ける



トンネル内を避ける

ポータブルラジオレコーダーを使う

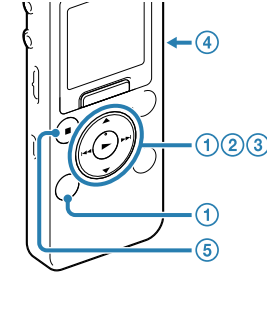
マイク録音する



- 1 ホームメニューで◀◀または▶▶を押して[マイク録音]を選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。録音停止画面が表示されます。
- 2 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。
- 3 ●録音／一時停止ボタンを押す。録音が始まり、録／再ランプが赤く点灯します。
- 4 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。「しばらくお待ちください」と表示され、録音停止画面に戻ります。

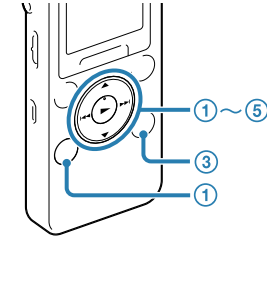
録音停止後に▶ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

再生する



- 1 ホームメニューで◀◀または▶▶を押して[録音したファイル]を選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。
- 2 ▲または▼を押してフォルダを選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。
- 3 ▲または▼を押してファイルを選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。録音が始まり、録／再ランプが緑色に点灯します。
- 4 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。
- 5 再生を止めるには、■停止ボタンを押す。

ファイルを消去する

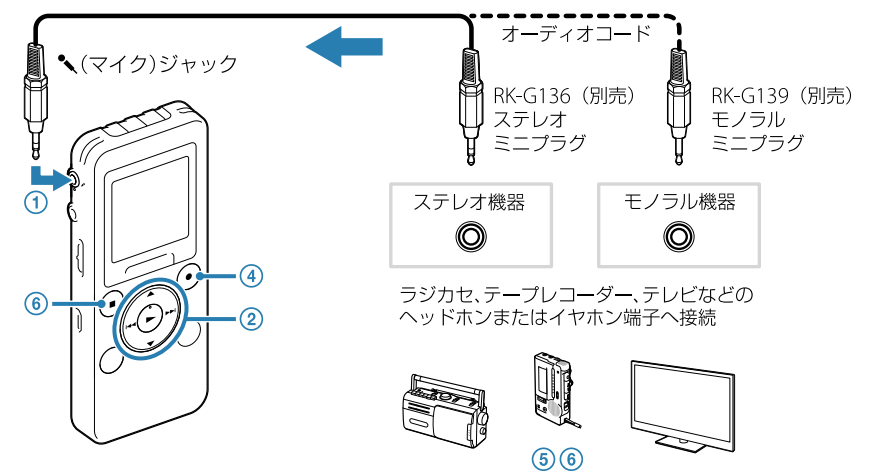


- 1 ホームメニューで[ポッドキャスト]、[ミュージック]、[録音したファイル]のいずれかを選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。
- 2 ▲または▼を押して、消去したいファイルの入っているフォルダを選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。
- 3 ▲または▼を押して、消去したいファイルを選ぶ。
- 4 オプションボタンを押してメニューを表示し、▲または▼で[ファイル消去]を選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。「消去しますか?」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。
- 5 ▲または▼で「はい」を選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。消去が完了すると、「消去しました」と表示されます。

消去しました

他の機器の音声を録音する

- 1 (マイク)ジャックにオーディオコードをつなぐ。「外部入力選択」画面が表示されます。
- 2 ▲または▼で「オーディオ入力」を選び、▶ (再生／決定) ボタンを押す。シンクロ録音機能を使って録音するかどうかを選ぶ。
*シンクロ録音は、2秒以上の無音で録音を一時停止し、音の再開に合わせて新しいファイルとして録音する機能です。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。
- 3 ●録音／一時停止ボタンを押す。
- 4 接続先の▶ (再生) ボタンを押す。
- 5 録音を停止するには、ポータブルラジオレコーダーの■停止ボタンを押す。また、接続先の■停止ボタンを押して、再生を停止する。



▼ ヒント

- シンクロ録音機能を使わずに録音するには、手順④で「いいえ」を選んでください。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってポータブルラジオレコーダーと接続し、他の機器の音量を調節してください。

上手に録音、再生のために

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているかどうか。録音環境は人によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。ためし録りは、大切な録音を失敗しないため、また、理想の音質に録音環境を整えるために大変有効なものです。

ノイズとして録音される可能性のある音について

ノイズの原因となる音は

ポータブルラジオレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。録音されるノイズには以下のようなものがあります。

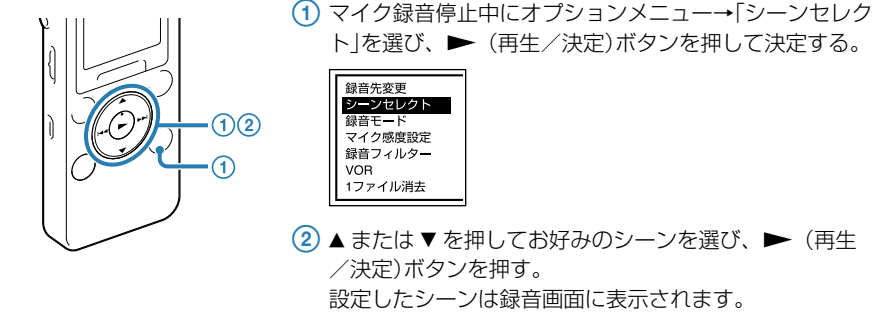


録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況に応じた「録音モード」を選んでください。ノイズが気になる場合は、録音モードを高音質モードに設定することをおすすめします。
- 状況に応じた「マイク感度設定」を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、マイク感度を下げてみてください。
- 録音シーンに合わせて「シーンセレクト」を選ぶと録音モードやマイク感度など、録音に必要な項目を一括でおすすめ設定に切り換えることができます。

用途に合わせた録音シーンを選ぶ(マイク録音時)

シーンセレクト機能は、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を一括でおすすめ設定に切り換えることができます。「Myシーン1」「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。



❗ おまかせボイス

入力音声レベルを判断して適正な感度で録音します。感度設定を間違えて再生時によく聞こえないなどの録音ミスを少なくします。
*お買い上げ時の設定は「おまかせボイス」です。

❗ ご注意

「おまかせボイス」は人の声(音声)に特化した設定項目ですが、くしゃみや静かな会話からの急な笑い声など、突発的な大きな音が入力された場合は、音がひずむことがあります。

会議

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。ハンカチなどの上にポータブルラジオレコーダーを載せることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。発表者に近い場所で録音してください。

講演

講演会や講義を録音するときに適しています。マイクを音源の方に向けて録音します。別売の指向性マイクを使用することで、録りたい音声を狙って録音することができます。

ボイスメモ

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。

インタビュー

インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1 m ～ 2 m くらいの距離で人の声を録音するときに適しています。マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。

歌・音楽

大人数での合唱練習やカラオケなど比較的大きな音を2 m ～ 3 m くらいの距離で録音するときに適しています。ポータブルラジオレコーダーをピアノの上に載せて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。ポータブルラジオレコーダーをピアノから1 m 程度離して録音してください。

▼ ヒント

少人数でのコーラスや音量が小さい楽器の音を録音した場合、録音された音声がいまいちです。その場合は、Myシーンで「マイク感度設定」を「高(音楽)」に変更してご利用ください。

Myシーン1、Myシーン2

録音モード、内蔵マイク感度などをお好みに合わせて編集できます。詳しくは取扱説明書「Myシーンの設定項目をお好みに編集する」をご覧ください。

オフ

シーンセレクト機能を働かせずに録音します。